

# しよおうわ



## 今月の表紙 2023.12.18

### 水芭蕉としらかばの杜



2024年の干支は「辰」です。昭和村で連想する場所といえば、この水芭蕉としらかばの杜が浮かびます。ここはエリアが広いので、様々な小字が含まれますが、その1つに「九々龍」という地名があり、そういう視点で後ろの山を見ると、なんだか龍の背中に見えてくるから不思議です。

からむんバスの乗降場所でもありますが、冬期間は積雪により乗降できません。春、水芭蕉の季節になったら、またご利用ください。



# 年頭のご挨拶



昭和村長 舟木 幸一

明けましておめでとう  
ございます。村民の皆様  
には明るく希望に満ちた  
新春をお迎えのこととお  
喜び申し上げます。

昨年は、生活に多大な  
影響を与えていた新型コ  
ロナウイルス感染症が第  
五類に移行し、4年振り  
に「からむし織の里フェ  
ア」が例年どおり開催でき  
るなど、コロナ禍前の生活  
が戻りつつありますが、そ  
の一方でロシアのウクラ  
イナ侵攻で始まった燃料・  
物価の高騰が、今もなお企  
業や家計に大きな影響を  
与え続けております。

さて、昨年は本村にとつ

て明るい話題が多くあつ  
た1年でありました。長年  
の念願でありました博士  
トネルが9月10日に開  
通の日を迎え、冬季間おい  
ては会津若松市までの通  
行が40分も短縮になるな  
ど、村民の命を守る大事な  
基盤が確保されました。開  
通後には、秋の行楽時期が  
重なつたこともあり、村外  
からたくさんの方に来訪  
いただき、これまでにない  
賑わいを見せたところで  
す。この賑わいを継続する  
ため、本村にまた来たいと  
思っていただけけるよう観  
光振興に取り組んでまい  
ります。

また、7月20日には、令  
和元年度に申請しました  
「昭和かすみ草」の地理的  
保護表示（GI）が、国の  
登録を受けました。花きと  
しては全国2例目となる  
ものであり、JA会津よつ  
ばでは、これを記念して7  
月20日を「昭和かすみ草」  
の日として日本記念日協  
会に申請し、登録されたこ  
ろであります。「昭和か  
すみ草」の知名度が一段  
と高まつたことにより、今  
年度のかすみ草の出荷額  
は、過去最高の6億4千万  
円を突破しました。引き続  
き、生産者の皆さんやJA  
会津よつばを始め、関係機  
関と連携を図りながら、更  
なる振興に取り組んでま  
いります。

さらに、10月8日には、  
からむし織体験生制度が  
30周年を迎えたことを契  
機に、記念シンポジウムを  
開催いたしました。第1部  
の特別講演では、皇室より

彬子女王殿下に御臨席い  
ただき、大変貴重な御講演  
をいただきました。第2部  
のパネルディスカッション  
では、本事業に様々な形  
で関わられた方々に活発  
な意見交換をしていただ  
く中で、「からむし」がど  
うあるべきかという貴重  
な御意見をいただきました  
ことです。今後は、皆さん  
の御意見を踏まえながら、  
からむしの振興に取り組  
んでいきたいと考えてお  
ります。

このほか、村では新たな  
取組として、A-オンデマ  
ンドバス「からむんバス」  
の運行や電子図書館をス  
タートしました。住民の皆  
さんの生活をより豊かに  
するための取組でありま  
すので、多くの皆さんに御  
登録いただき、気軽に御利  
用いただいて、その利便性  
を実際に感じていただけ  
れば幸いです。

本年も、村民の命や生活

を守る福祉や水稻をはじ  
めとする農業の取組に着  
実に取り組むとともに、公  
共インフラWi-Fiの居  
住地域への拡大など先端  
的過疎の取組にもチャレ  
ンジするなど、行政の選択  
と集中を行いながら、三  
年後の村制百周年に向け、  
「てえらな心で、ここちよ  
く暮らす」を目指し、行  
政・議会・村民が一体と  
なって、取り組んでまいり  
たいと考えておりますの  
で、皆様のお力添えを賜り  
ますよう、よろしく願ひ  
いたします。

結びに、新しい年が村民  
の皆様にとつて佳き一年  
となりますことを御祈念  
申し上げます。御挨拶と  
いたします。

## 昭和村議会議長 渡部 節雄

新年明けましておめでとうございませう。

議会を代表いたしまして、新年を寿ぎ、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

昨年は、我が昭和村では、これといった自然災害もなく、豊作の秋を迎えることが出来、おおむね順調な1年ではなかったかと感じております。

様々な出来事の中で、特筆すべきは、やはりなんと、いって博士バイパスの完成でした。インフラ整備が社会に対して大きな影響力を行使する様を、目の当たりにしました。昭和村にとって、会津中心部へのアクセスアップと、今後も継続すると思われる来訪

者の増加が、村民生活にどう変化をもたらすか、大いに期待の持てるところであります。

また、新型コロナウイルス感染症が5月に、2類から5類に移行したことも社会に対する影響大であり、社会活動の回復を促し、閉塞感からの解放を実感しております。

ところで、我が村では、「担い手不足」という現象が4、5年前より取り沙汰されております。各種団体、業界においてそれが顕著になり、活動の著しい低下を余儀なくされる要因となっております。

昭和村議会もその例にみれず、昨年6月に行われた議員選挙においても、直

前にはあわや定員割れをきたすのかと思わせる状況でありました。ここ2回連続で投票による選挙が実施されていないという憂えるべき状態であります。

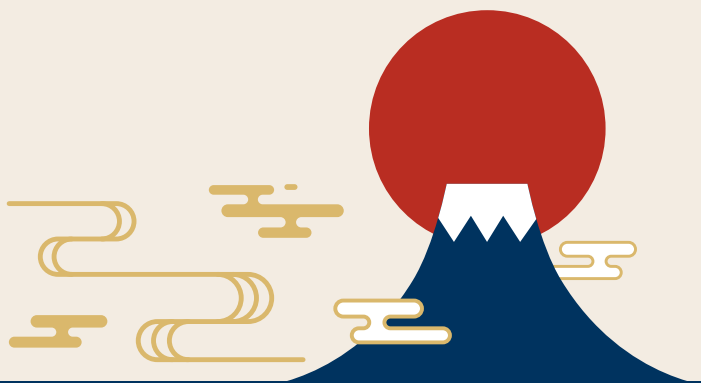
議員には「選ばれた」という自覚が、村民には「選んだ」という村政に対する関心の高さが、議会のダイナミズムを生む必要条件であります。

よって、私は今年1年、議員のなり手不足問題解決のために行動を起こして行こうと考えております。そのためまず、議員報酬の改訂と議員定数の削減を取り上げ、話し合いを持つと思うっております。この2項目が問題解決

の全てではないことを承知の上で、村民の皆様と考えて頂く端緒として提案致します。

年初から、硬いお話で恐縮ではありますが、議会制民主主義持続のため、多様なご意見を頂戴致し度くお願い申し上げます。

結びに、令和6年が、村民の皆様にとって、健やかに過ごすことの出来る、幸せな1年になります様お祈り申し上げます、私の挨拶と致します。





## 酒井福一さん

### 祝百歳

酒井福一さん（下中津川）が11月25日で満百歳の誕生日を迎えられ、ご自宅にて百歳高齢者賀寿贈呈式が行われました。

福島県、昭和村、昭和村老人クラブ連合会、下中津川老人クラブ、昭和村社会福祉協議会、ご家族から、賀寿及び記念品や祝金が贈られました。



## 花いっぱいコンクール 喰丸小周辺花壇整備で受賞

福島民友新聞社、県森林・林業・緑化協会、農林中央金庫福島支店主催の、第56回花いっぱいコンクールにおいて、会津昭和村ファンクラブ（会長 小林さや香さん）が農林中金福島支店長賞を受賞されました。クラブの活動として、喰丸小周辺にケイトウの花壇を整備するなど、花の魅力を届けた地域づくりに取り組まれたことが評価されました。



## 博士トンネル開通記念 大抽選会

12月2日に、5年ぶりとなる昭和村スタンプ会の大抽選会が行われました。

ここにコスタンプ台紙3冊で抽選に参加でき、コツコツ集める方、大きな買い物をして一気に集める方、など様々。

久しぶりの抽選会を楽しみにされていた方も多く、抽選の結果に一喜一憂し、歓声もあがる抽選会となりました。



## 保育所

### クリスマス会

12月19日、昭和村保育所でクリスマス会が行われました。

ツリーの飾りを保育所中に隠し、一番星を見つけたら一等賞！の探しっこゲーム（宝さがし）を行いました。

全員、好きなお菓子を選んだところで、どこからか鈴の音が・・・ツリーのところへ向かうとサンタさんから素敵なプレゼントが置いてありました。



## 地域の

### 寺子屋交流会

11月24日、昭和村公民館で福島県老人クラブ連合会事業の「地域の寺子屋交流会」が行われました。

昭和村老人クラブ連合会の方々が講師となり、放課後児童クラブの子どもたちと凧作りを行いました。好きなキャラクターなどの絵を描いたビニールに竹ひごを貼り合わせ、短時間で制作することができました。あいにくの天候で、外で凧揚げを行うことはできませんでしたが、揚げ方を教えてもらうなど交流を深めることができました。



## 小型家電・衣類・食器類の無料回収

5月から11月にかけて4回実施した小型家電・衣類・食器類の無料回収イベントでは2・4トン回収しました。回収した資源は再利用（リユース）や原料化（リサイクル）し有効活用されます。来年度も春から秋に数回予定していますので、ごみの排出抑制にご協力ください。

## 村民球技大会

### 開催

11月26日に昭和小学校で第47回村民球技大会が4年ぶりに開催され、旧校下ごとに編成された全8つの男女混合チームが家庭バレーボールで熱戦を繰り広げました。優勝は、「松山・野尻・中向Aチーム」、準優勝は「下中津川Aチーム」、第3位に「松山・野尻・中向Bチーム」という結果でした。

## 冬の健康管理等

### 健康講演会

11月29日、すみれ荘で、奥会津在宅医療センターの押部医師による健康講演会を開催しました。寒い時期に気になる血圧の管理やヒートショック等、冬の健康管理について講話いただきました。

←血圧測定の落とし穴  
左右差と右利き・左利き

## 消防団へ 消防車両を引渡し

11月30日、今年度購入した消防自動車が入り、昭和村消防団に引き渡されました。車両は、小型ポンプの積載車（軽自動車）で、電動で小型ポンプの積み下ろしが可能な仕様となっており、消防団第1分団第5班（松山区）に配備されました。

## 地域づくり懇談会 行われる

12月14日から22日にかけて、地域づくり懇談会（旧・村政懇談会）を各地区で開催し、地域の課題や懸案事項など、活発な議論を交わしました。なお、各地区から出された内容については、広報紙等でも改めてお知らせする予定です。

## 公民館日誌

### ○千歳学級「健康講座」 11月22日

公民館で千歳学級「健康講座」を開催しました。講師に福島県立宮下病院の押部看護師をお迎えして、「笑い与健康～笑って健康になろう」をテーマに、笑うことがもたらすたくさんの健康効果をお話いただきました。また、笑いヨガの体験では、基本動作や様々な動きをアレンジしながら思いっきり笑い、心も体もスッキリ元気に、笑顔あふれる楽しい教室となりました。

(主催：公民館「千歳学級」／共催：保健福祉課)



### ○生涯学習講座「蕎麦打ち教室」 11月27日

公民館で生涯学習講座「蕎麦打ち教室」を開催しました。講師に蕎麦カフェ SCHOLA の酒井由美さんをお迎えして、蕎麦打ちの一連の工程を教えていただきました。

つなぎを使わない十割蕎麦は、ひびが入りやすく生地が滑らかになるまで整え、切れずに扱うのが大変でしたが、講師の指導のもと、なかなかの腕前の蕎麦が完成しました。蕎麦の美味しい茹で方の説明を聞きながら、どんなメニューにしようか、食べ方の話題で盛り上がりました。



### ○少年教室「クリスマス会」 12月2日

会津自然の家で少年教室「クリスマス会」を開催し、一足早いクリスマス気分を楽しみました。

ケーキづくりでは、生地づくりからデコレーションまでの全てを班で協力して行い、おいしいブッシュドノエルができました。

クラフト制作では、さつまいものつるを使ったクリスマスリースづくりを行い、木の実やモール・リボン等で工夫を凝らして飾りつけをし、素敵なリースができました。





令和5年 12月議会  
**行政報告**

村では、定例議会毎に、各分野の事務事業などの進捗状況などを行政報告として議会へ報告していきます。今回は12月議会における報告のあらましをお知らせします。

●電力・ガス・食料品等価格高騰に伴う住民生活への影響緩和

住民税非課税世帯に対する3万円の重点支援給付金事業は、対象となる世帯に10月下旬から確認書を発送し、11月から給付を行っていきます。また、国のデフレ完全脱却のための総合経済対策として、低所得世帯支援枠を追加的に拡大することが決定したため、12月定例会に住民税非課税世帯に対する7万円の重点支援交付金事業の補正予算を計上しました。

●広域連携の取組

日本で最も美しい村連合の活動として、昭和村子ども会との共催で、10月14日に国道の清掃活動を行いました。

また、日本で最も美しい村連合のサポーター交流会及び日本で最も美しい村まつり2023が10月下旬に東京都で開催され、本村も参加しました。

今後も、連合の広域的な取り組みに参加し本村の魅力を紹介するとともに、村民の皆様と機運を高めるための活動を継続していきます。

●公共交通対策

昭和村南会津町生活バスの冬期試験運行は、12月1日から開始し、来年の3月末まで、冬期間の安全な運行確認と、バスの利用状況を調査します。

国道401号博士峠を活用した会津若松方面への路線バスは、運転手の確保が非常に困難な現状であり、令和6年度当初の運行は極めて難しい状況で

す。この大変厳しい状況を踏まえ、代替えとなり得る運行方法の検討や想定される課題解決に向けた対応等について協議を進めています。11月から、今後の運行ルート設定の基礎データとするため、会津若松市内や会津美里町内を目的地とした路線調査を行いました。

早期の運行が非常に困難な状況ではありますが、一日も早い会津若松方面への交通手段の確保に向けて、今後におきましても鋭意努力していきます。

●地域の安全と安心

村では、倒壊など著しく保安上危険となる恐れや、著しく衛生上有害となる恐れのある家屋2棟を特定空家とし、適切な管理が図られるよう助言等を行っていきます。今後も所有者等に対し、除却を含めた適切な管理を促していきます。

●心地よく暮らせるむら

Aーオンデマンドバス

については、応募をしていただいた中から名称を「からむんバス」に決定し、11月1日からプレ運行を開始しています。11月16日現在で、村民の皆様をはじめ123名の方々にシステムへの利用登録をしていただきました。

利用者の需要に応じたオンデマンド型移動サービスの効果的な運行に向けて、機会を捉え周知に努めながら利用登録者の増加・利用促進を図っていきます。

●先端的過疎への取組

公共インフラWi-Fiインターネットワーク整備事業は、10月にセンター設備工事の入札を執行し事業に着手しました。また、補助事業分のアクセスポイント設置工事については、現在入札の準備を進めており、早期の完成に努めていきます。

スマホ・タブレット講座は、11月に元気で長生き教室と共催し、全村民を対象に各集落の区長事務所等を会場に開催しました。ま

た、老人クラブ連合会や民生委員、赤十字奉仕団を対象としたスマホ教室も実施しました。今後も、村民の皆さんへデジタル関連の理解を深めていただくため、機会を捉えながら周知に努めていきます。

●選択と集中の行政運営

10月に2回目の役場庁舎建設庁内検討委員会を開催し、新庁舎の規模や建設場所、庁舎整備の全体スケジュールについて協議を行いました。

今後は、2回目の委員会において出された提案や確認事項等について協議・検討を行い、新庁舎の素案をまとめるとともに、地域住民等の方に参画していただく組織の編成について検討を進めていきます。

●稲作

米価は回復の兆しがある一方で、農業資材や燃料等の価格上昇が、経営を圧迫する状況が続いております。

大変厳しい状況下にあるため、国は肥料価格高騰対策事業の一環として「化学肥料の2割低減に向けた取組」の定着に向け、「地域の取組」を支援する追加対策が継続して行われており、村としても、情報の収集に努めながら、引き続きJAや関係機関と情報共有や連携を図り、必要な対応等について協議してまいります。

●転換作物

主要作物であるソバは、8月の高温による影響が大きく、全国的に生産量が減少していることから取引価格は上昇しており、超過需要傾向にあります。

今後においてもソバの作付を継続していただけるよう、国や県からの情報収集に努めながら、新たな転換作物について検討し

てまいります。

●花き

主要品目の宿根カスミソウは、7月からの高温傾向による短茎・前進開花が大きき問題になりましたが、JA会津よつばかすみ草部会の11月23日までの出荷本数は、約530万本と前年同時期比で約108パーセント、販売額は、6億4600万、前年同時期対比で約106・3パーセントとなりました。

価格の高位傾向が続いたことにより、前年に記録した過去最高の販売額を更新しました。これは、生産者のご努力はもとより、県会津坂下農業普及所金山普及所の指導員による献身的な技術指導、JA担当職員による市場の動向等を的確に把握した売り先の確保、さらに、「雪室」で集荷後に予冷して一切外気に触れず運ぶ「パーフェクトコールドチェーン」の構築による品質維持の効果が伴い、生み出された結果であると考えています。

年明けには、昭和かすみ草振興協議会による関西方面への市場等に対する販売促進活動を計画しており、引き続き、市場や小売店等に対して、関係団体と連携を図りながら広域を積極的に行い、昭和かすみ草の更なるブランド力の向上に努めてまいります。

新規就農者の確保や、子供達に対し「花育」による村の産業への理解を深める取組や、雪を資源とした「雪室」の整備などの取組が、令和5年度過疎地域持続的発展優良事例に選ばれ、10月26日に、全国過疎地域連盟会長賞を受賞しました。

●鳥獣被害対策

本年度に実施した広範囲での電気柵設置については、5つの集落と4つの団地で取り組まれました。

一方、広範囲での対策に必要となる人員の確保や、維持管理に対する負担などから、取り組むことが困難な事情もあり、鳥獣被害が減少していない地域もあります。本年度も、適正な

●商工関係

電圧の常時確保や漏電箇所の把握、ワナの捕獲監視や稼働状況の確認などに取り組んでいきます。

なお、11月15日現在の有害鳥獣の捕獲状況は、熊17頭、イノシシ14頭、シカ14頭、カワウ4羽、カラス7羽です。

「昭和村地域振興券」は、10月1日から使用が開始されています。11月17日現在の利用状況が約40・3パーセント、利用金額は約458万円となっています。

地域振興券は、使用可能期限内に使用していたら、多く、コバシリやホームページ等で村民の皆様にも周知を図ってまいります。

●観光交流事業

博士トンネル開通後、初めてとなる秋の観光シーズンを迎えることから、誘客事業として、11月初旬の3連休に「手仕事マルシェ」と「昭和のはたらく車展示会」を開催しました。喰丸小のオオイチヨ

ウも見頃を迎え、3日間の来場者は村内外から2500人を越える方々に来場いただきました。また、昭和村観光協会主催の「昭和44年号で昭和へGO」日帰りバスツアーも連休最終日に開催され、ボンネットバスで村内を巡り、紅葉シーズンの自然を満喫していただきました。

埼玉県草加市との姉妹都市交流は、9月に秋の昭和村体験ツアーが行われ、稲刈りや原木しいたけの収穫、矢ノ原湿原の散策など、多くの市民に参加していただき、参加された方々からは、ツアー内容などにも高い評価をいただきました。

10月及び11月には村内の事業者のご協力をいただき、「ふささら祭り」への出店や「昭和村いいがなうめえがな市」を開催し、本村の農産物や特産品などの販売を通じて、多くの草加市民との交流を図りました。



## ●工事関係（村道の整備）

村道中向小田垣線の新設改良舗装工事及び入間方不動沢線の道路改良舗装工事は、契約工期内の完成に向け工事を進めています。

村道大岐2号線の暗渠改良工事及び、野尻字高畔地内の農道法面補修工事は、10月25日に竣工し、工事が完了しました。

## ●工事関係（国道の整備）

国道401号大芦工区は、11月1日に会津若松建設事務所にて作成いただいた事業の進捗状況と今後の予定について、お知らせするチラシを大芦地区全戸に配布しました。今後は、軟弱地盤対策の工事設計を進めるとともに、工事の進め方を検討することです。

また、11月22日には本村も加盟する国道401号改良整備促進期成同盟会として、県知事などへの要望活動を行いました。国道400号舟鼻峠工区は、昭和村側の狭隘区間の改良

工事等が着実に進められており、年間を通じた安全な通行の確保が期待されています。

また、11月21日には本村も加盟する国道400号舟鼻峠改良促進期成同盟会として、県知事などへの要望活動を行いました。

## ●除雪関係

冬期間の村道の除雪は、11月7日に除雪会議を開催し、今年度の除雪計画を決定しました。

また、今年度より新たに、国道401号の小野川集落から博士トンネルまでの区間の延長が追加されたことから、昭和村委託オペレーターによる除雪を行うていきます。なお、この路線に於いては除雪ドーザー19トンを県より借り受けて対応していただきます。

## ●高齢者世帯等への物価高騰対策

物価高騰対応生活困窮世帯緊急助成事業として、住民税非課税世帯のうち、

高齢者世帯、障がい者世帯、ひとり親世帯に対し6千円を給付するため、対象世帯に申請書を発送し、年内に支給を終える予定としています。

## ●医療機関への通院等の支援

11月13日から、毎週月曜日に会津中央病院による医療送迎バスの運行が開始され、通院等に利用していただけるようになりました。今年度の運用の結果を踏まえて、課題等について整理してまいります。

## ●保健事業

10月に、村内各集落で健康相談と併せて健診結果説明会を開催したほか、11月からは「元気で長生き教室」を開催し、日々の健康管理やフレイル予防と認知症の予防に理解を深めていただきました。併せてスマホ相談会も行い、スマートフォンやタブレットの使い方を学んでいただきました。

## ●感染症対策について

今秋の新型コロナウイルスワクチン接種は、これまで接種を終了した18歳以上の方を対象に希望調査を行い、10月から11月にかけて3回の集団接種を行っています。11月30日までに接種を終えた方の、18歳以上の村内人口に占める割合は27.07パーセントです。

季節性インフルエンザは、11月に予防接種を行いました。これから年末年始にかけて、集まる機会や帰省など往来が多くなることから、予想されることから、基本的な感染対策について注意喚起を促してまいります。

## ●高齢者福祉

4年ぶりとなる昭和村敬老会を9月に開催しました。70歳以上の方々に出席していただき、今年「金婚式」を迎えられた3組のご夫婦の表彰をされるとともに、今年度に満百歳を迎えられる、3名の方にお祝い状及び記念品を贈呈しました。また、敬老会のアトラクションとしてわ

らべの会によるコーラス、また本村にゆかりのある小椋昇さんが代表を務める会津民謡まみや会のステージで盛り上げていただきました。

## ●世代間交流

10月10日に、子ども会主催による、eスポーツ・ニュースポーツ交流会を開催し、デジタルゲームを体感頂きながら、子どもと高齢者の交流を図りました。

## ●保育所事業

今年度から保育所の子どもたちも村民文化祭に参加し、小さい身体で一生懸命に演技を行う様子をを通して、子ども達の元気な姿を村民にお伝えすることができました。

### ●学校教育

小学校では総合的な学習の一環として、稲作農家の指導の下、学校田の稲刈りと脱穀を9月下旬に行い、10月には保護者も参加して収穫祭を行いました。児童の健康増進と体力向上のため、10月に校内マラソン大会が開催され、児童は日頃の練習成果を十分発揮しました。外国語によるコミュニケーション能力を育成するため、11月、小学校5、6年生が天栄村の語学研修施設ブリティッシュ・ヒルズで英語研修を行いました。秋の全国火災予防運動週間に、昭和村消防団とともに昭和小学校少年消防クラブが防火パレードを行い、火災予防を呼びかけました。

小学校でも総合的な学習の一環として、中学3年生が9月12日から2泊3日で首都圏方面への修学旅行を行い、普段と異なる生活環境の下、見聞を広める貴重な体験ができました。中学1、2年生は、一人一人の社会的・職業的自立

### ●小中一貫教育

小中一貫教育の推進は、今年度も小学校において中学校教員による乗り入れ授業を高学年の国語、社会、理科の3教科で実施しています。中学校教員の専門的知識や指導技術を生かし、より質の高い授業を児童に提供し、中学校の授業へとつなげていきます。

さらに、10月下旬には小学校と中学校合同での文化祭を開催し、多くの村民に日頃の学習成果を発表するとともに、本村の義務教育9年間を見据えた教育活動の成果をお示しできました。また、本村の少子化の現状と将来を考えたときに、幼児期から中学生までの切れ目のない円滑な移行及び支援に向けた実効性のある連携や、交流の在り方などの検討が急務であることから、保育所

### ●社会教育

から中学校までの保護者と、保育及び教育行政関係者などをメンバーとした昭和村子ども教育検討委員会が11月30日に発足しました。今後は、本村の保育と学校教育の現状と課題を共有し、課題解決に向けて協議と検討を重ね、今年度末には検討結果をまとめいきます。また、村長と教育委員会の協議・調整の場である総合教育会議は11月開催し、教育も含めた村を取り巻く様々な課題について議論を交わしました。

社会教育事業は、芸術の秋、スポーツの秋にちなんだ様々な事業を実施しました。まず、9月には児童生徒が本物の舞台芸術に親しむ場として演劇鑑賞会を開催しました。次に、10月1日には、国のデジタル田園都市国家構想交付金を活用した昭和村電子図書館が開館しました。11月末までの2ヶ月間では、利用者101人、延べ360冊の電子書籍が貸

### ●教育施設

し出されています。今後とも村民の皆さんが手軽に読書に親しめるよう普及に努めるとともに電子書籍の充実も図っていきます。次に、村民の生涯学習の成果発表の場として、第61回昭和村民文化祭を今年も文化の日を中心に開催しました。当日は好天にも恵まれ多くの来場者で賑わいを見せました。次に、11月19日には第35回ふくしま駅伝が開催され、本村も希望ふくしまチームの一員として2人の選手が出場しました。2人とも実力を遺憾なく発揮しチームは好成績をあげました。同じく先月には、村民の親睦と体力の増進を図る目的で、第四十七回村民球技大会が開催され、若者を中心に多くの村民が参加し、白熱したプレーが繰り広げられました。

教員宿舎解体及び新築事業のうち、解体工事が先月末までに現場での作業は終了しました。また、新年度に計画している新築

工事の設計業務についても今月中に完了する予定となっております。

## コバシリの訂正について

令和5年12月20日に発行したコバシリ No.106号中、6ページ十大ニュースの応募〆切が誤っておりましたので、お詫びして訂正申し上げます。(ホームページ掲載分は修正済みです)

誤:令和5年1月12日(金) → 正:令和6年1月12日(金)

地域づくり・集落

公共交通・バス

防災・減災

通信・ネットワーク

農業・有害鳥獣

道路・河川

医療・介護

空き家

教育・子育て

移住・定住

# みなさんの声 聞かせてください



「皆さんの声聞かせてください」事業へのご提案・ご意見を頂戴しましたので、その内容と、村からの回答をお知らせします。

※掲載の都合上、原文を簡潔に要約させていただきます。

## 01 ふるさと納税の返礼品の米について

70代・男性 村内

### 【ご提案内容要旨】

① 村内でコシヒカリを作っているのに、何故ひとめぼれを採用しているのか。返礼品はコシヒカリを選びたい。他の町村ではコシヒカリを返礼品にして納税者に人気があるようだ。  
② 何故令和4年産米としているのか。

発送時は令和5年産米を送りますと書いておけばよいと思う。

### 【回答】

① 本村は山間高冷地のため天候や気温等の影響を受けやすい地域であることから、本村の立地や気象条件に適應する品種として「ひとめぼれ」が多く作付けされている状況です。

このようなことから、返礼品として良質なお米を安定的にお届けできる「ひとめぼれ」を採用しているところであります。

なお、本村での「コシヒカリ」の作付けも年々増加し、良質なお米をお届けできる状況に変わってきておりますので、ご提案くださいました返礼品への「コシヒカリ」の追加について、生産者への情報

提供を行うとともに、必要な事務手続きを進めながら返礼品の拡充を検討してまいります。

② 本村における水稻の収穫時期につきましては、例年9月下旬頃から開始されることから、納税をしていただいた時期によりましては、返礼品としての新米をお届けできる時期が遅くなってしまうため、ふるさと納税をしていただいた皆様に対応が遅延することのないようにとの理由から、前年産米との標記をしていたものと思われまます。頂戴したご意見を踏まえ、生産者及びふるさと納税サイト事業者と協議を行い、表示方法やお礼品の発送時期について改善を図ってまいります。

ご提案・ご提言は、役場に備え付けの提案用紙または村ホームページの専用フォームから行えますので、お気軽にご意見をお寄せ下さい。





## 「自動計算」「自動入力」「自宅から」確定申告はスマホからできます！

次のSTEPの順に、スマホ画面に従って操作すると、確定申告書を作成することができます。

### STEP1

国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」へ、次のブラウザでアクセスしてください。

☆ iPhoneの方…「Safari」 / ☆ Androidの方…「Chrome」

### STEP2

提出方法の選択。

○マイナンバーカード方式

(マイナンバーカードとマイナンバーカードに対応するスマホが必要です。)

○ID・パスワード方式

(事前に税務署へ、ID・パスワード方式の届出が必要です。)

### STEP3

収入・所得金額や所得控除等の入力。

### STEP4

入力した内容の確認とデータの送信。

### STEP5

確定申告書等帳票PDF・入力した申告書データの保存。

ご不明な点等がございましたら、会津若松税務署個人課税部門へお問い合わせください。

**【お問い合わせ】会津若松税務署 個人課税部門 ☎ 0242-27-4314 (直通)**

## テクノアカデミー会津 《個別進路相談会》

入学を考える方や、会津地域で就職を希望している方を対象に個別の進路相談会を開催します。事前申請は不要ですので、気軽にご参加ください。

なお、詳細はホームページ (<https://www.tc-aizu.ac.jp>) に掲載しています。

**日時**：(1) 令和6年1月14日(日) 午前9時30分～12時

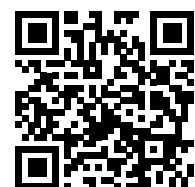
(2) 令和6年2月25日(日) 午前9時30分～12時

**場所**：県立テクノアカデミー会津

(喜多方市塩川町御殿場4丁目16番地)

**対象**：高校生(学年問わず)と保護者

会津地域で就職を考える若年者の方



**【お問い合わせ】県立テクノアカデミー会津 ☎ 0241-27-3221**

## 宮下病院からのお知らせ

福島県立宮下病院 院長 横山秀二

新年あけましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが変更され、感染の流行が一進一退する中、同時にインフルエンザウイルス感染症の流行が見られるなど、依然として感染症から身を守りながらの生活が続いております。このような中、地域の皆様より病院の運営に際し御支援と御協力を賜り、心より感謝申し上げます。

本年におきましては、地域の皆様が安心して生活できるよう近隣町村との連携を深めながら、奥会津地域唯一の病院として診療機能の充実に努めてまいります。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

お問い合わせ：県立宮下病院 Tel 0241-52-2321

## 北海道・三陸沖で想定されている巨大地震や津波に備えましょう

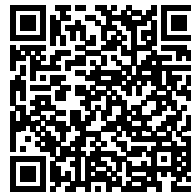
日本海溝・千島海溝沿いでは過去に巨大地震が繰り返し発生しており、大きな地震の後に、さらに大きな地震が発生した事例もあります。

大きな地震が発生すると、それに続く次の地震「こうはつじしん後発地震」の発生可能性が高まると考えられます。このため、想定震源域でM7.0以上の地震が発生した場合には、気象庁から「北海道・三陸沖後発地震注意情報」が発表されます。

「後発地震」が必ず発生するとは限りませんが、日頃からしっかり地震に備えるとともに、この情報が発表されたら、地震への備えの再確認と、念のためすぐに津波から避難できる態勢をとって、次に発生するかもしれない大きな地震に備えるようにしましょう。

(内閣府・気象庁)

詳細は内閣府のホームページでご確認ください。



## 機械 CAD・NC コース、電気設備技術コースの訓練生募集

会津訓練センターでは、再就職を目指す求職者の方々を対象に、ものづくり分野の職業訓練（離職者訓練）を実施しています。

【訓練生募集（機械 CAD・NC コース、電気設備技術コース）】

- ①募集定員 各 12 名
- ②訓練期間 令和 6 年 3 月 1 日から令和 6 年 8 月 30 日まで（6 ヶ月間）
- ③対象者 ハローワークに求職登録されている方で、職業訓練の受講が望ましいと判断された方
- ④受講料 無料
- ⑤募集期間 令和 6 年 1 月 15 日(月)～ 2 月 7 日(水)
- ⑥選考日 令和 6 年 2 月 9 日(金)
- ⑦申し込み 最寄りのハローワーク窓口へご相談ください。  
申し込みをされる前に、施設見学会に参加されることをお勧めします。

詳しくは、ポリテクセンター会津・訓練課 (Tel 0242-26-0520) にお問い合わせください。

## 〔連載〕昭和村の歴史と文化

〔第13回〕

昭和村文化財保護審議会委員長  
菅家 博昭（大岐）

## 谷ヶ地のシダ植物

ferns

冬期間、自動車での博士街道の通行が可能となった。

ご存じのように、2023年9月に博士トンネルが開通し小野川から会津高田への行き来が一年中できるようになった。

トンネルを出た会津高田側は松坂と言うが通称は「谷ヶ地（やかじ）」と呼ぶ。博士トンネルから次の松坂トンネルの間の、落葉した樹林の林床は、見事なシダの群落が続く。何種類あるのだろうか？形状が異なる古代の植物群落が積雪前の短い期間に姿を見せる。ほんとうに美しい。



農林水産省東北農政局会津農業水利事務所による新宮川ダム建設により水没するため谷ヶ地（松阪）集落の58戸、193名が1983年9月に離村した。40年前のことである。私が切り花栽培を開始する前年のこと、宮利切り花生産の勉強をはじめたころであった。

谷ヶ地は断層なのかどうか、アルファベットのV字形に鋭く切れ込んだ谷の、博士川と大滝川の合流部に谷ヶ地とよぶ集落を形成し、標高は520メートルである。この村で生まれ狩猟も経験した林業家の栗城惣市氏（1925年生、故人）と知り合い、1994年11月26日に会津若松の周東一也氏（昨年逝去）が主宰の「つなぐ塾」の若い仲間とともに集落跡を歩きながら話を伺ったことがある。

集落の周囲の山の斜面

は中腹まで杉が植えられている。栗城氏は「そこはカノ（焼畑）の跡だ」という。谷ヶ地は水田が無く、カノから収穫される雑穀と山のものに頼っていたので、杉は植えないことを昔から申し合わせていた。カノに杉を植えたのは戦後のことに思う。だから太い杉はまだ無いという」

栗城氏の話から、森林伐採と土地利用に関する集落の取り決めが存在していたことがわかる。はたしてこうした制限はなぜ起きたのだろうか。

『新宮川ダム水没地区松阪（谷ヶ地）民俗調査報告書』（会津高田町 1985）によれば山林使用収益権に関する集落間の取り決めを記した松阪38戸連名の協議確定書が成立した明治28（1895）年旧4月か

ら制限無くブナ・ナラなどの伐採も盛んに行われ、炭焼きも自由にできるよ

うになったとある。逆に言えばこの時期まで伐採が内部的に制限されていたのである。それはなぜか。

報告書では谷ヶ地の森林資源は長い間の乱伐で採取可能な地域は皆伐されていたのではないかと推察している。

文禄3（1594）年7月の蒲生高目録で「中村入屋加地、中在家、下屋加地」と谷ヶ地各集落名があらわれ、石高は97石である。文化15（1818）年は100石。安政3（1856）年は100石。267年間に石高の増加が無く、つまり耕地は早い時代に拓き尽くしていたことがわかる。

安政3（1857）年当時は、柄麻、ぜんまい、鍬柄、下駄、炭、真綿、織漆が産物として記録されている。また年貢をかけられた漆の木が1200本ほどあったのではないかともしている。



地域おこし協力隊

松尾 悠亮

小中津川名家文書の紹介⑤

『公私摘要』の紹介(弐)

先月に引き続き『公私摘要』という昭和村の記録を紹介いたします。『公私摘要』初編(第一冊)は、

「異国人来朝以来所々争乱事変之事」という見出しから始まります。「異国人来朝」というのは、嘉永6年(1853)のペリー来航のことです。見出しに引き続き箇条書きで、著者栗城義綱が見聞したと思われることや、江戸幕府・会津藩から出された御触の写が書かれています。全ての記事を紹介することは難しいので、特に昭和村、そして有名な事件に関する記事の中から選んで、今月は戊辰戦争までのものを一部紹介します。

1、会津御蔵入領が会津藩領へ編入(画像1)

江戸時代、昭和村(野尻組)を始めとする奥会津の村々は南山御蔵入地と呼ばれ、江戸幕府の直轄地でした。預地として幕府に代わり会津藩が治めた時期がありますが、文久3年(1863)、最終的に会津藩領へ編入されました。

『公私摘要』には、文久3年の会津藩領への編入にあたり、代官所から金山谷四ヶ組触継村々名主へ出された御触の写(11月25日付)が入っています。

その内容は、11月11日に代官が江戸幕府の勘定奉行(「御勘定所」)へ呼び出されたところ、陸奥国会津大沼郡5万5千9百55石余は会津藩へ編入することになり次のように言われた。「文久3年の年貢(「当亥年物成」)は代官へ納める事。ただし、「酒造冥加永」(酒造した時に課される雑税)については、会津藩(「御料所」)へ残すよう取り計らうように。」



→画像1

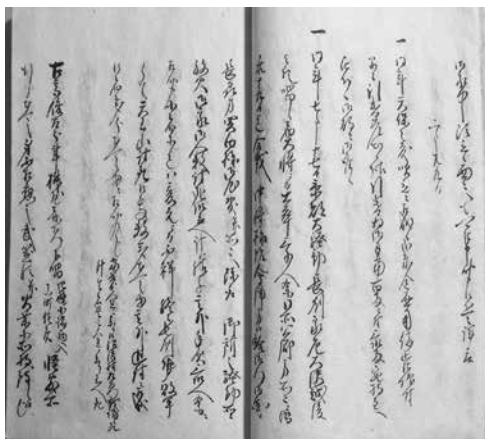
2、会津藩の京都守護に伴う人足の募集

会津藩主松平容保は、文久2年(1862)から京都守護職を勤めていましたが、遠い京都での仕事は会津藩にとって大きな負担になっていたようです。

元治元年(1864)、「御蔵入役所」から出された御触の写では、京都人足が募集されています。人足役として徴収してしまふと村の負担になってしまふので、人足に応じた人には給金(最初16両、主人から4両、都合20両、段々値上がり)を支払うとされています。実際に昭和村(野尻組)から人足として京都へ行った人がいたのかは分かりません。

3、池田屋事件と禁門の変(画像2)

元治元年7月19日、前年の「八月十八日の政変」で京都を追われていた長州藩が、会津・薩摩両藩を相手に京都で蜂起しました。この事件は、「禁門の変」または「蛤御門の変」として幕末史の一大事件としてよく知られています。『公私摘要』では、「同年(元治元)七月十九日京都大騒動」として詳しく書かれています。「禁門の変」では、沼沢から人足として京都へ行った人が戦場で亡くなり、さらに針生から行っていた人も一人亡くなっ



→画像2

ついでの記事を紹介しませう(続)。

たところで、『公私摘要』では変の発端となった池田屋事件のことについても「古高俊太郎事、榊屋喜右衛門卜唱(割注略)、怪敷所行在之」と触れられています。ただ、残念ながら新撰組の名前はここでは出てきません。この他にも嘉永年間からの色々な出来事が『公私摘要』には書かれています。来月は戊辰戦争に

# アレクサンドラ 先生の小噺 #1

Alexandra Short Story

## Niagara's Fall (ナイアガラの滝)



外国語指導助手 アレクサンドラ先生

(原文)

Dear Showa Village's residents, let me tell you about my last family road trip in Canada before coming to Japan.

My family has a tradition of doing at least one road trip a year.

When we learned that I was going to go live in Japan at the end of the summer, we knew that we needed to have one last big trip.

We decided to go to Niagara's Falls.

Niagara's falls is a group of three tall and large waterfalls.

It spans the border between Canada and the United States of America (USA).

On the Canadian side these falls are situated in the province of Ontario.

So, we drove from Quebec, the eastern province of Canada to Ontario, Quebec's western neighbour.

western The trip between the two places took 7h by car.

In Niagara Falls you can go and see the beautiful and magnificent waterfalls.

At night the waterfalls are illuminated which gives them an enchanting look.

It is really something incredible standing in Canadian ground and having the United States on the other side of the waterfalls.

There are various delicious restaurants from all around the world.

There are attraction parks and arcades for families to enjoy and have fun.

My family and I had a lot of fun and long-lasting memories there.

Even my dog "Logan" was very happy and took a lot of pleasure being the center of attention everywhere we went.

Until next time.

※ロードトリップ：長距離を車で移動する旅

(日本語訳)

昭和村の皆様、私が日本に来る前に行った最後のカナダでの家族旅行についてお話しさせていただきます。

私の家族は少なくとも年に1回ロードトリップをする恒例行事があります。

夏の終わりに私が日本に住むことが決まった時、最後にもう一度大きな旅行をする必要があると思い、私たちはナイアガラの滝に行くことにしました。

ナイアガラの滝は、高くて大きな3つの滝が集まったものです。

カナダとアメリカ合衆国(USA)の国境にまたがっています。

カナダ側では、これらの滝はオンタリオ州にあります。そこで私たちはカナダ東部のケベック州からケベック州の西隣のオンタリオ州まで車で向かいました。

移動は車で7時間かかりました。

ナイアガラの滝では、美しく雄大な滝を見ることができます。

夜には滝がライトアップされ、幻想的な表情を見せてくれます。

カナダの大地に立って、滝の向こう側にアメリカがあるというのは、本当に信じられないことです。

そこには、世界各地の様々な美味しいレストランがあります。

家族連れが楽しめるアトラクションパークやゲームセンターもあります。

家族と私は、ずっと心に残る楽しい思い出がたくさん出来ました。

愛犬「ローガン」も大満足で、どこに行っても注目の的になることがとても楽しかったです。

それではまた次回まで。



# Wi-Fi のむら

## #13 オレンジのテープがついた「Wi-Fi」と書かれた杭棒

村では、令和4年度から生活圏の屋外でのインターネット通信を無料で利用できる「公共インフラWi-Fi」の整備を段階的に予定しています。その普及にあたって、Wi-Fiについて、基礎から利活用も含めて隔月での連載を行います。

【お問い合わせ】総務課 企画創生係 0241-42-7717

現在、村内数十箇所に、「Wi-Fi」とマジックで書かれた杭棒が設置されています。こちらの杭棒は、新たに電柱を設置する目印の杭棒となります。



原則として、村道敷（農道敷）に電柱を設置しますが、置局設計（どこにアクセスポイントを置いてどこまでカバーエリアとするかの設計）上、村道敷では適切な場所がない場合のみ、個別にご案内をさせていただいております。

降雪により工事が困難と見込まれる箇所については、分割発注しにすでに建柱を完了しておりますが、一部の地区は降雪期の工事となり、村民の皆様には、ご迷

惑とご心配をおかけしますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

電柱は、建柱車という機械を使って建てます。大きなドリルがついた移動式クレーン車のような機械で、電柱の太さほどの穴を地面から1.8mほどの深さまで掘り、建て込みます。

地盤にもよりますが、1本あたり2～3時間程度で作業は完了します。

気になる供用開始ですが、順調に工事が進めば2月下旬から試験電波の発出を予定しております。



## ふるさと納税 — ご寄附いただいた皆様ありがとうございます —

令和5年11月1日 ～ 令和5年11月30日まで

【寄附件数】 7件 【寄附金額】 10万5千円



ご寄附いただいた皆様

福島県 齋藤繁稀 様 1万円

福島県 小林正義 様 2万円

東京都 勝木るり 様 1万円

※寄附申込書において氏名公表可とされた方のみ掲載しております。

ご寄附は地域の活性化事業や保健・医療・福祉の充実等村の抱える課題解決に活用させていただきます。

ご寄附いただきありがとうございました。



## 警察署からのお知らせ

### 年末年始もやっぱり ～みんなでつくろう安心の街～

福島県内のなりすまし詐欺の発生件数及び被害額は、昨年度よりも減少傾向にあるものの、依然として被害は多く発生しています。

また、年末年始期間を安全で安心して過ごせるように、防犯活動にご協力をお願いします。

#### 【なりすまし詐欺防止】

詐欺の被害に遭わないためには、いつでも留守番電話が効果的です。相手の声をスピーカーで聴くことができ、誰からの電話か慌てずに判断できます。また、犯人は自分の声を録音されることを嫌がり電話を切ることが期待できます。

#### 【戸締まりは防犯活動】

防犯の基本は戸締まりです。空き巣や車上狙いにあわないために、ゴミ出しや買い物など、短時間でも家や車から離れるときは、必ず施錠しましょう。また、悪徳商法に遭遇した場合も、ドアを開けず、きっぱりと断りましょう。

#### 【ながら見守り活動】

散歩・ウォーキング・庭の掃除・買い物など、日常生活のなかで見守り活動を行い、犯罪や事故から子どもや高齢者を守りましょう。

#### 昭和村内街頭犯罪等発生状況 (令和5年11月末現在 概算値)

区分	管内	昭和村
強盗	1	
空き巣	4	
忍び込み		
事務所荒らし		
出店荒らし	2	
自動車盗	2	
オートバイ盗		
自転車盗	2	
自販機ねらい		
車上ねらい		
ひったくり		
部品ねらい		
強制わいせつ		
街頭犯罪合計	9	0
その他刑法犯等	46	0
全刑法犯	55	0

※その他刑法犯等には、暴行、傷害、万引き、詐欺、器物損壊などの犯罪発生件数が含まれます。

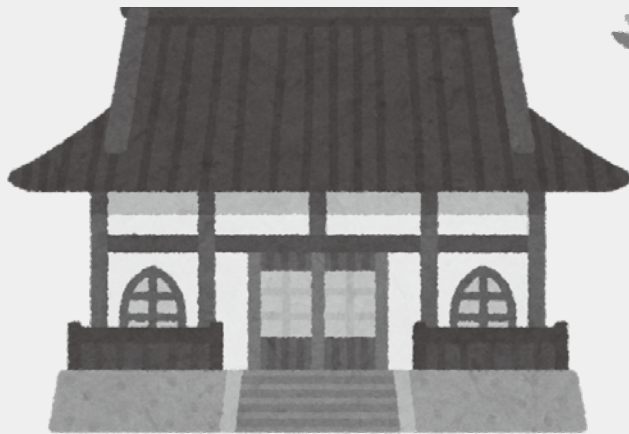
※上記発生件数は、令和5年1月1日からの累計数になっています。

## 消防署からのお知らせ

### 育てよう 歴史を守る 防火の心 毎年1月26日は文化財防火デー

文化財防火デーは、昭和24年1月26日奈良県にある法隆寺金堂が火災になり、国宝十二面壁画の大半を焼損したことがきっかけで、昭和30年1月26日に定められました。

日本の文化財は木や紙など可燃物で作られているものが多く、一度火災になると大きな被害を受ける可能性が高くなります。1月26日を中心に文化財を火災や地震などから守るための訓練を実施し、将来に継承すべき貴重な財産である文化財の火災予防に努めましょう。



火事・救急・救助は **119**

会津坂下消防署昭和出張所  
☎ 57-2119 <http://www.119-aizu.jp/>

## ＋ 1・2月の休日当番医 ＋

- 1月14日(日) 坂下厚生病院  
☎ 0242-83-3511 (会津坂下町)
- 21日(日) こばやしファミリークリニック  
☎ 0242-55-0388 (会津美里町)
- 28日(日) もこぬま内科消化器科医院  
☎ 0242-56-5622 (会津美里町)
- 2月4日(日) 昭和村国保診療所  
☎ 0241-57-2255 (昭和村)
- 11日(日・祝) 星医院  
☎ 0242-83-2136 (会津坂下町)
- 12日(月・振替) 金山町国保診療所  
☎ 0241-54-2031 (金山町)

## ◆◆◆ 戸籍の窓口 ◆◆◆

令和5年11月1日～11月30日受付

- お誕生おめでとうございます  
今月の届け出はありません
- ご結婚おめでとうございます  
今月の届け出はありません
- おくやみ申し上げます  
五十嵐 小 春 さん 100歳 小中津川

※戸籍の窓口への掲載を希望されない方は届出の際にお申し出下さい。

## ◆◆◆ 昭和村の人口 ◆◆◆

令和5年12月1日現在※住民基本台帳人口

人口	1,120人	(-5)	出生	0人
男	544人	(-2)	死亡	2人
女	576人	(-3)	転入	0人
世帯数	618戸	(-1)	転出	3人

## ◆◆◆ すみれ荘だより ◆◆◆

\* つみきクラブ 毎週水曜日 9:00～11:30  
(会場の都合によりお部屋の変更または休止になる場合がありますのでご了承ください)

### 健康ミニ情報

＜フレイル予防について＞

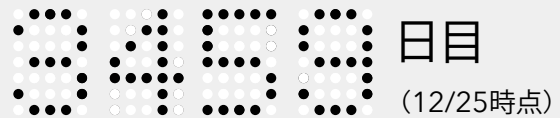
2月1日は「フレイルの日」です。

「フレイル」とは加齢とともに、心と体の働きが弱くなって、介護が必要になる可能性が高くなった状態のことを言います。早めの対策で予防や改善ができ、健康に過ごせる時間を延ばすことができるため、フレイル予防がとても重要です。

- ① 人とつながる。(社会参加)  
外出する、友人と交流する、地域の活動に参加するなど、人と関わる機会を持つようにしましょう。
- ② いろいろ食べる(栄養)  
同じものばかりに偏らないように多くの種類の食品・食材を組み合わせる食べましょう。
- ③ 体を動かす(運動)  
「座りっぱなしの時間を減らす」ように心がけ、今より少しでも多く体を動かしましょう。
- ④ お口の健康(オーラルフレイル予防)  
お口の衰えは全身に影響があります。食後の歯みがきや義歯の清掃などでお口を清潔に保ち、しっかり噛んでしっかり食べることができるようにしましょう。

## 交通死亡事故ゼロカウンター

昭和村は交通死亡事故ゼロの記録更新中です。



## ◆◆◆ 今月の納税 ◆◆◆

- ◎ 村県民税 4期
- ◎ 後期高齢者医療保険料 6期
- ◎ 上下水道使用料 5期

〔納期限：令和6年1月31日〕



広報

しょうわ

2024

1

No.656

## 地域のしあわせづくり活動紹介「下中津川いってみっ会」

12月4日、すみれ荘においてリース作りを開催しました。『リース作りは初めて!』と、花々の色や大きさ、雰囲気工夫して、それぞれに個性豊かでとっても素敵なクリスマスリースが完成しました。その後、有志の方々が作って下さったご馳走を皆でいただきました。「下中津川いってみっ会」は、地域の高齢者と一緒に美味しい昼食を作って食べ、ゲームや余興などの楽しい時間を過ごすことを目的に、下中津川地区の有志が企画・運営をしておられ、令和5年度「アクティブシニア事業」(保健福祉課)を活用しています。

※「アクティブシニア事業」は令和6年度も継続される見込みですので、このようなステキな企画案がありましたら、お早めに昭和村生活支援コーディネーターまで御相談下さい

(生活支援コーディネーター：和泉・小林)



### みんなで育てる、村LINE公式アカウント

お友達の数が、500人を超えました!たくさんのご登録ありがとうございます!

# 昭和村

LINE 公式アカウント

LINEで  
「昭和村」を  
友だち追加



ID:@showavill

LINEの「友だち追加」から、ID検索するかQRコードをスキャンしてください。

# LINEで

## 昭和村からの お知らせ

### を受け取ろう!!

# はた音

寒中お見舞い申し上げます。活動量がぐっと下がるこの季節、寒さや転倒には気を付けて、適度に体を動かしましょう。

さて先日、昔のアニメのリマスター版を見ました。私は有名な名言を聞いた事がある程度ですが、コスモクリーナー・タイムワープ、と聞いてピンと来た方は世代ですね。放射能汚染によって地上に住めなくなった人類は地下へと潜ります。福島県民としては、他人ごとではありませんね。また侵略してくる宇宙人も、ラストにはその背景が描かれます。これも近年の戦争・紛争を考えると、他人ごとではありません。きっかけはとても些細な事です。

当時の大人たちが近未来を想像して作ったアニメ作品ではありますが、現代の私たちにも十分すぎる問いかけをしてくれています。(と)

### 昭和村民憲章

- 一、伝えましょう  
はた音の響き
- 一、守りましょう  
手技の智恵
- 一、創りましょう  
おいしい水
- 一、育てましょう  
豊かな大地
- 一、育てましょう  
健やかな心と体
- 一、助け合おう  
長寿の里
- 一、広げましょう  
いたわりの気持ち
- 一、明るい笑顔  
みんなの和

### 皆様からの情報お待ちしております!

広報しょうわでは、皆様からの情報をお待ちしております。お気軽に下記までお寄せ下さい。

役場 総務課 企画創生係

☎ 0241-42-7717

kikakusousei@vill.showa.fukushima.jp

発行 行 日：令和6年1月10日  
編集 行：福島県昭和村  
企画 行：昭和村役場総務課

〒968-0103 福島県大沼郡昭和村大字下中津川字中島 652  
TEL: 0241-57-2111 / FAX: 0241-57-3044  
WEB: https://www.vill.showa.fukushima.jp/